

看護学生の研修を受け入れて

今年も看護専門学校の学生さんが研修に来られました。ボランティア室でのタオルたたみやオシボリ作りを手伝って「今まで何も考えずに使っていました。これからは心して使わせていただきます」と言って下さったり、入院案内では車椅子を押したり荷物を持ったりして、進んで人に手をさしのべる喜びを感じて下さったり、半日の体験でしたが多くのことを学ばれたように思います。そして病院でお仕事をして行く上で、お医者さんや看護師さん以外にもいろんな人が関わっているという認識を持っていたかだと思います。

学生さんは皆、本当にしっかりした考えを持ち、少しでも人のお役に立ちたいという思いから看護師を目指しているとのこと、何とも頼もしく嬉しい言葉に心から”頑張ってね”と声を掛けた次第です。これからも学習は続くと思いますが初心を忘れずに、人の心に寄り添う優しい看護師さんになって下さい。

金曜日 三木愛子

看護専門学校卒業式

拝啓 春寒しだいに
緩むころ、やわらかな
春の日差しがうれしい
季節となり、ますます
ご健勝のほどお喜び申
上げます。

この度、私たちは晴れて卒業を迎えることとなりました。在学中は、ご多忙にも関わらず、丁寧に分かりやすくご指導していただき、ありがとうございました。老年看護学習Ⅰにおいて、ボランティア「えぷろんの会」で実習させていただき高齢者の社会活動の状況を知ることができました。また、病院のスタッフの一員として連携し、ボランティアを生きがいとして活動されていることを感じました。今後は、本校で得た学びを臨床で生かし、患者さまの気持ちに寄り添った看護を提供していけるよう頑張っていきたいと思います。また、専門職業人として責任と自覚を持ち、日々、知識を高めるべく精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、「えぷろんの会」の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。敬具

看護専門学校卒業生一同



健康シリーズ 37 末期がんも頂きもの

料理教室で勉強中のSさんは、末期がんだという。黒く沈んだ顔をしているので、クラスメートもどう力づけていいか分からない。そこで私は、別室に呼んで、「病気は誰が治すの？」と聞いたら「自分が治す」と言う。そんなことから、小学生の小さなお子さんが、あなたの姿を見て「お母さん、死んじゃうの…？」と心を痛めて言うのよ。いのちは頂きもの。”天命で生まれ天命で還る”のよ。自分で治すなんて傲慢もいいところ。細胞の一つ一つを誰が育てるの？その集まりが心臓になっているでしょう。「私まだ生きたいから、心臓よ、あと50年働いてくれ」と言っただけでそうはならない。コントロールタワーは自分じゃない。自然の力そのもので、お天道さまの働きです。自分で勝手に決めて子供に心配させるなんて親じゃない！。私は心の底から湧きだすように叱りました。彼女は今まで考えたともない事だったので、動転したようです。でも、子供に心配させないで「お母さんは病気だけど大丈夫、頑張って元気になるから、家の事も手伝ってね」と言ってあげなさい。そうしたらお子さんも安心して一生懸命手伝います。マイナスをプラスに生きる事になり、思いやりのある心やさしい子に育ちます。いいかげんだった料理もきちんとやってね。これからです。いのちは頂きもの。天まかせでいい。今自分ができる事をするのよ！と叱咤激励をしました。

あなたと健康3月号より

私の趣味 36 水彩画

65歳で退職、毎日が日曜日で何か物足りなく、昨年6月より労災病院のボランティアに関わるようになりほっとしています。読書が大好きで2～3冊はストックしており、旅行も食べ歩きも大好き。また新しい趣味を始めました。水彩画です。



物を見る目が変わり、山、川、花を見てもどう描こうかと考えてしまいます。始めて1年ですが月2回10時から16時まで、1回500円、お弁当持参です。10人の先輩に囲まれ、駄作が15枚ほど。額に入れると上手に見えます？昨年9月、上高地に写生旅行に行き綺麗な山や梓川に見とれ、4枚写生しましたが今だに未完成、何時出来上がるやら。何時か見て頂けるような作品を描きますのでご期待ください。先生は小寺副会長のお姉さん”村尾祥子先生”です。

私は火曜日と水曜日のグリーンでお世話になっています。教えられることが沢山あり、花作り手芸品作りなどの趣味も増え、のほほんとしている時間が少なくなったのは残念ですが、人と係わるのは大切です。世界も趣味も広がります。

火・水曜日 坂本睦子

4月～6月の行事予定

- 4月 8日(火) 看護専門学校入学式
- 4月14日(月) 第1回リーダー会
- 4月17日(木) 活動調整委員会
- 4月17日(木) 会計監査
- 5月14日(水) 総会
- 5月15日(木) 活動調整委員会
- 5月16日(金) 看護の日行事
- 6月19日(木) 活動調整委員会、手作り教室、

あとがき

春一番も吹き、春はもうすぐです。桜の美しい季節になりますね。5月には総会があり、今年度は役員改選などがあります。多数のご参加と協力をお願いします。

編集部

図書便り 21 蔵書からの紹介

「旅猫レポート」 有川 浩著

主人公「サトル」と愛猫「ナナ」。病ゆえに若くして死期が迫ったサトルが、ナナを託す為に思い出の人々を訪ねて歩く、その旅をナナの視点でレポートした物語です。サトルと思い出の人々との物語も素敵なのですが、何といたってサトルとナナの会話。そしてサトルのナナに対する得も言われぬ愛情。猫と暮らしたことがある人なら、ツボを得て“ウンウン”と頷くこと多々。ペットではなく、生きとし生けるものとしての共に生きた月日が溢れていて、言葉にも行動にも優しさや愛がたくさんあって、幸せな気持ちになります。別れは悲しいものではなく、愛しいすべての人々と地平線の向こうで再び出会い、豊潤な旅へと続いていく始まりなのです。

安井 和美